

中学校第1学年数学解答用紙

年・組・番号	年 組 号
名前	

1	(1)	①
	(2)	②
	(3)	③
	(4)	④

2	(1)		⑤
	(2)	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 50px; margin-right: 10px;"></div> $\leq y \leq$ <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 50px; margin-left: 10px;"></div> </div>	⑥
	(3)	人	⑦
	(4)		⑧
	(5)	<div style="display: flex; border-bottom: 1px dashed black;"> <div style="flex: 1; padding-bottom: 5px;">記号</div> <div style="flex: 1; padding-bottom: 5px;">文字を使った式</div> </div>	⑨
	(6)	<p>右の三角形 D E F は実際の三角形 A B C を <div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 50px; display: inline-block; vertical-align: middle;"></div> 倍にした縮図である。</p> <div style="border: 1px dashed black; width: 800px; height: 200px; margin-top: 10px;"></div> <p>したがって、木の高さは約 <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 50px; display: inline-block; vertical-align: middle;"></div> m である。</p>	⑩

③

(1) 1組の表 15以上～18未満… ()

収穫範囲 (個)	人数 (人)
6～9	3
18～21	7
21～24	3
24～27	1

(2) 2組の柱状グラフでは、ミニトマトの収穫が12個未満の人数は

4

枚 ⑬

(1)

(2)

上の図のように囲むと、 ○ の形は n 個できる。 ○ には
 白いタイルがそれぞれ 12 枚あるので、枚数は $12n$ 枚になる。

○ の形が重なる □ の形は □ 個できる。 □ には
 白いタイルがそれぞれ

したがって、黒いタイル n 枚を横一列に並べたときに必要な
 白いタイルの枚数は $(8n + 4)$ 枚になる。 ⑭

5	(1)	⑮
	(2)	⑯
	(3)	

兄と弟がゴールしたときの時間の差は、 分 秒である。⑰

6	(1)	午後	時	分	⑮	
	(2)	<input type="text"/>	$x + 4 \times$	<input type="text"/>	$= 140$	1 試合の時間 分 ⑯
	(3)	<p>予選は各コート 6 試合，決勝トーナメントと交流戦は 2 コートで同時に行い，それぞれ 5 試合だから，移動の回数は，あわせて <input type="text"/> 回になる。移動の時間を x 分とすると，</p> <div style="border: 1px dashed black; height: 150px; width: 100%;"></div> <p>したがって，移動の時間は <input type="text"/> 分にすればよい。 ⑰</p>				